

## 福岡県歯科技工士会 基本研修課程開催計画書

講師 佐藤幸司

### 教育課程:「歯科技工倫理と展望」

#### 抄録

これからの歯科技工士は、歯科医療人としての専門性を、歯科技工を通じて広い視野で社会に貢献できる歯科技工士が求められていると思われます。歯科技工の原点は、失われた口腔機能機器の回復技工にあると考えています。

デジタル時代の歯科技工に何を求めるかと言われれば、仕事の合理化や精密度あるいは品質管理を考えるが、歯科技工士が医療人として職業観を考えるとヒューマンなテクノロジーが重要であります。

つまり、歯科医療従事者として歯科医療に貢献するために『社会的な役割』『個性の発揮』『生活の質』といった職業人の三要素が大切であります。

新時代における歯科技工士として充実した日常を送るために皆様と共に考察してみたいと思います。

また、グローバル化時代の歯科技工界に対する問題点を考察し、海外の歯科技工動向と現状についても包括的に考察したいと考えています。

### 専門課程:「義歯製作の基本」

#### 抄録

義歯製作の歯科技工を行う上で補綴装置の咬合と審美は、欠かすことの出来ない分野である。臨床技工で大切なことは、正確な口腔内情報により明確な製作技工を行う素材を適切に分析および解析し、それを効率よく実践する事だとされています。それには、担当歯科医師との十分なコミュニケーションが基本で、患者の主訴をよく理解し顔貌の表情や姿勢等の観察も重要であります。義歯を製作するうえで、トータルサポートとなる顎口腔系から全身に生理学的調和する機能審美補綴でなければならないとされています。近年の臨床技工は細分化され多様化しデジタル技工の進歩により複雑化してきています。専門的に分化していくのは、それなりに進歩して歯科医学の発展のためにも納得のゆく事ではあるが、多すぎるほどの高度な情報があらゆる分野で得られるため、ベースとなる基本が大切であると思っています。今回の基本研修専門課程では、デジタルデンチャーの動向と総義歯製作で重要な基礎について整理し再確認をしてみたいと考えています。

時間の許す限り皆様と共に実りあるセミナーになれば幸いです。